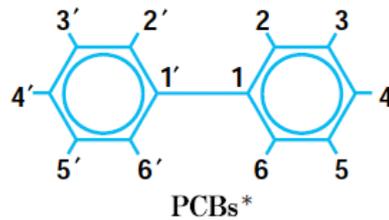
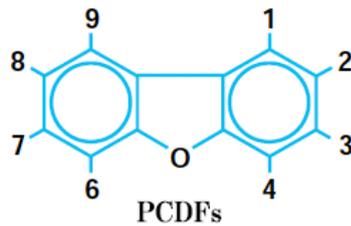
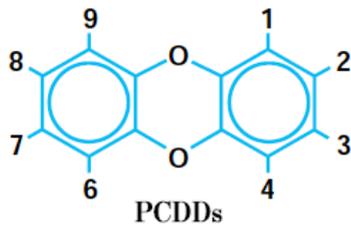




第9章 ダイオキシン類調査



* PCBsの中で2つのベンゼン環が同一平面上にあって扁平な構造を有するものを「コプラナーPCB」といいます。
 なお、PCBsの中には、同一平面上にない構造を有するものについてもダイオキシンと似た毒性を有するものがあり、国では現在、これらも併せてコプラナーPCBとして整理しています。

ダイオキシン類

第9章 ダイオキシン類調査

1 ダイオキシン類の概要

ダイオキシン類は、炭素・酸素・水素・塩素が熱せられるような過程で自然にできてしまう副生成物で、通常、無色無臭の固体で、水に溶けにくく、蒸発しにくいという性質を持っています。主な発生源は、ごみ焼却による燃焼ですが、その他にも製鋼用電気炉、たばこの煙、自動車排出ガスなどの様々な発生源が指摘されています。

ダイオキシン類には、ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン（PCDD）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）コプラナーポリ塩化ビフェニル（コプラナーPCB）の3類があり、それぞれの類には10数種類から100種類以上の化合物があります。その化合物の中で毒性のあるダイオキシン類を調査し、環境基準に照らし合せています。

本市においても、平成11年度からダイオキシン類の一般環境調査を実施しています。なお、日本人が通常1人1日に摂取する量は、現在体重1kg当たり2.1pg-TEQ/kg/日といわれています。人が一生涯にわたり連日摂取し続けても健康に有害な影響がないと判断される摂取量を耐容1日摂取量といい、その数値は4pg-TEQ/kg/日です。一時的に多少摂取したとしても長期間での平均摂取量以内であれば健康に影響ありません。

(1) ダイオキシン類に係る環境基準

調査項目			環境基準
大気環境			0.6 pg-TEQ/m ³ 以下
水環境	公共用水域	水質	1 pg-TEQ/l以下
		底質	150 pg-TEQ/g以下
	地下水		1 pg-TEQ/l以下
土壌環境			1,000 pg-TEQ/g以下

2 ダイオキシン類環境調査結果

令和2年度は市内でダイオキシン類の大気環境及び水環境（水質・底質）のモニタリング調査を実施しました。

(1) 大気環境調査

測定値は0.6 pg-TEQ/m³以下であり、環境基準を達成しました。調査は、4季節ごとに行い、平均値をもってその年の測定値となります。

(単位: pg-TEQ/m³)

測定地点	年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	調査機関
	刈谷市寿町		0.028	0.016	0.021	0.020	

調査時期：各年度とも春・夏・秋・冬

(2) 水環境調査

ア 公共用水域水質調査

測定値は1 pg-TEQ/l以下であり、環境基準を達成しました。

(単位:pg-TEQ/l)

地点名		年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	調査機関
境川	新境橋				0.28			愛知県
	境大橋		0.35			0.24		愛知県
逢妻川	逢妻川橋		2.80	0.14	0.40	1.20	0.10	刈谷市
	境大橋		0.50	0.52	2.00	0.49	0.40	愛知県
	市原橋				1.40	0.34	0.29	愛知県
猿渡川	三ツ又橋				0.52			愛知県

イ 公共用水域底質調査

測定値は全ての地点で150 pg-TEQ/g以下であり、環境基準を達成しました。

(単位:pg-TEQ/g)

地点名		年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	調査機関
境川	新境橋				0.22			愛知県
	境大橋		0.47			0.18		愛知県
逢妻川	境大橋		0.38	0.72	0.65	6.30	0.54	愛知県
	市原橋				0.62	2.60	1.10	愛知県
猿渡川	三ツ又橋				1.20			愛知県

ウ 地下水調査

測定値は全ての地点で1 pg-TEQ/l以下であり、環境基準を達成しました。

(単位:pg-TEQ/l)

調査場所	調査結果	調査年月	調査機関
西境町	0.066	平成24年8月	愛知県

(3) 土壌環境調査

測定値は全ての地点で1,000 pg-TEQ/g以下であり、環境基準を達成しました。

(単位:pg-TEQ/g)

調査場所	調査結果	調査年月	調査機関
原崎公園	0.36	平成18年7月	愛知県
花池児童遊園	0.11	平成23年6月	愛知県
荒井公園	0.15	平成29年7月	愛知県